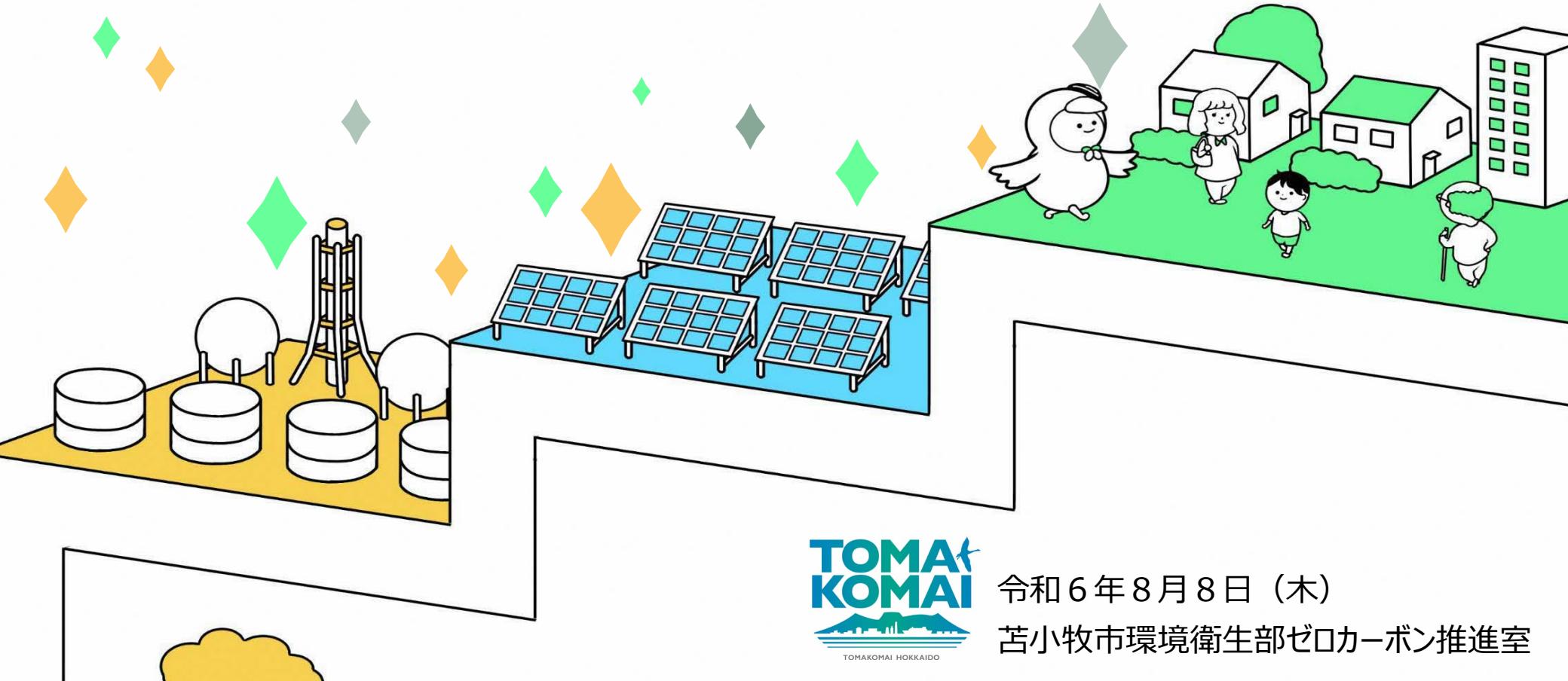
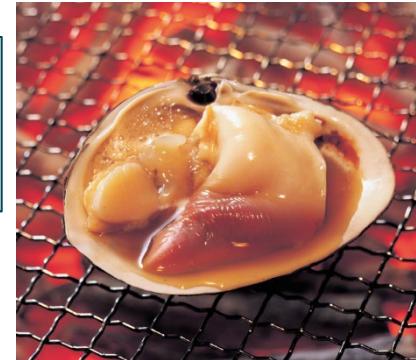


地域適応計画策定に関する事例紹介

- 第4次苫小牧市環境基本計画 -

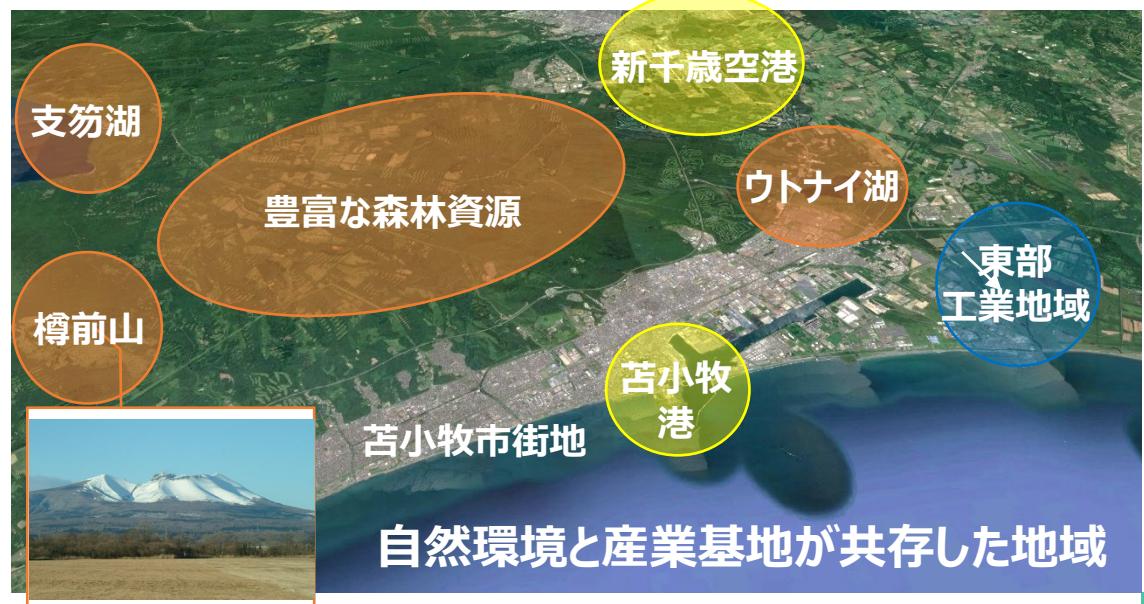
～第1期ゼロカーボン推進計画～





ホッキ貝漁獲量
23年連続日本一

豊かな自然環境
ラムサール条約登録湿地の
ウトナイ湖



面積

約560km² 東京23区とほぼ同じ

市域

東西 約40km 南北 約24km

人口

166,025人 (R6.6末時点) 道内第4位

北海道の物流・経済を支える交通の要

海

苫小牧港

北日本最大の
国際拠点港湾

【取扱貨物量】

年間取扱量 全国 **3** 位 国内向け取扱量 全国 **1** 位

【内航船定期航路】

計 **22** 航路 **107** 便/週 フェリー・RORO船・コンテナ船

【外航船定期航路】

計 **8** 航路 **7.5** 便/週

陸

高速道路・鉄道

道内主要都市への
容易なアクセス札幌まで車で 約**60**分市内の高速IC **5**か所
(苫小牧中央 ICを除く)市内中心部に新たに
苫小牧中央 IC開設
(2020年12月13日)

空

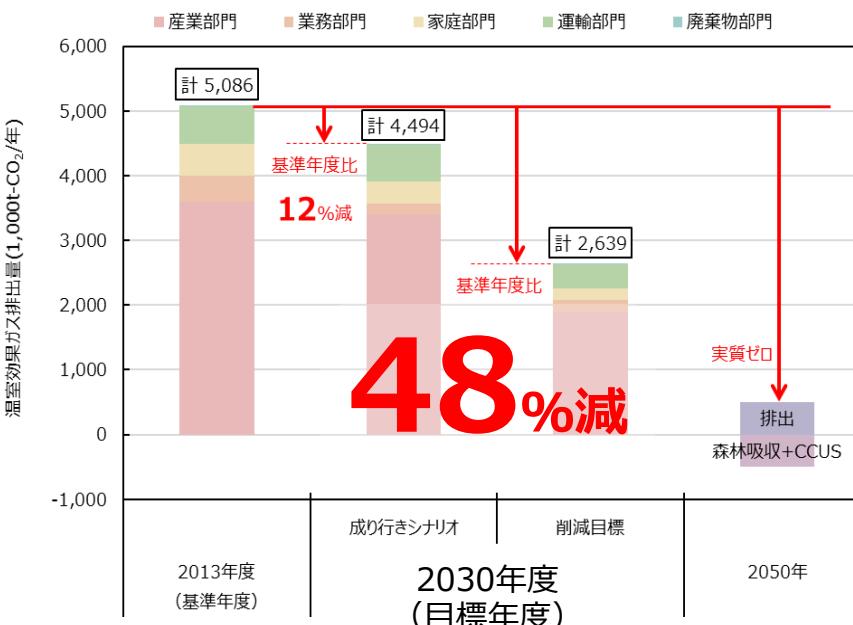
新千歳空港

全国・世界に広がる
空のアクセス苫小牧から車で約**20**分全国主要都市（道外）
の空港と直結新千歳ー羽田間
所要時間 **95**分程度

計画の概要・位置付け

- ・苫小牧市では、2022年度にゼロカーボンを含めた第4次環境基本計画を策定。
- ・2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、CO₂総量削減目標として、まずは**2030年度までに48%削減**（基準年2013年比）を設定。
- ・**4つの基本目標ごとに、アクションプランとして市・事業者・市民が連携して取り組むべきことを具体的に示している。**

<CO₂総量削減目標>



<4つの基本目標>

1 広げよう！ゼロカーボンとみんなの暮らし
私たちの身近なところから、2050年にCO₂の排出を実質ゼロにすることを目指すゼロカーボンの暮らしを広げます。

- ①エネルギーを節約しよう！
節電・節エネルギー・節水・エコドライブなど身近な取組がたくさんあります。
- ②CO₂の少ない製品・サービスを選ぼう！
環境性能の高いものや、環境配慮マークの付いたもの、地元で作られたものを選びます。
- ③ゼロカーボンな住宅・オフィスをつくろう！
断熱性・機能性の向上は、経済面・健康面でもいいことだらけ！
- ④ゼロカーボンなまちをつくろう！
自転車や公共交通機関など自動車以外の手段を積極的に選びます。
- ⑤環境対策の大切さを知ろう！
学びを通して環境対策をより身近なものとして意識することが大切です。

2 実現しよう！ゼロカーボン産業都市
もとより産業をはじめ多様な産業が発展する苫小牧だからこそ、産業全体で「ゼロカーボン」を目指して、環境と経済の好循環を実現します。

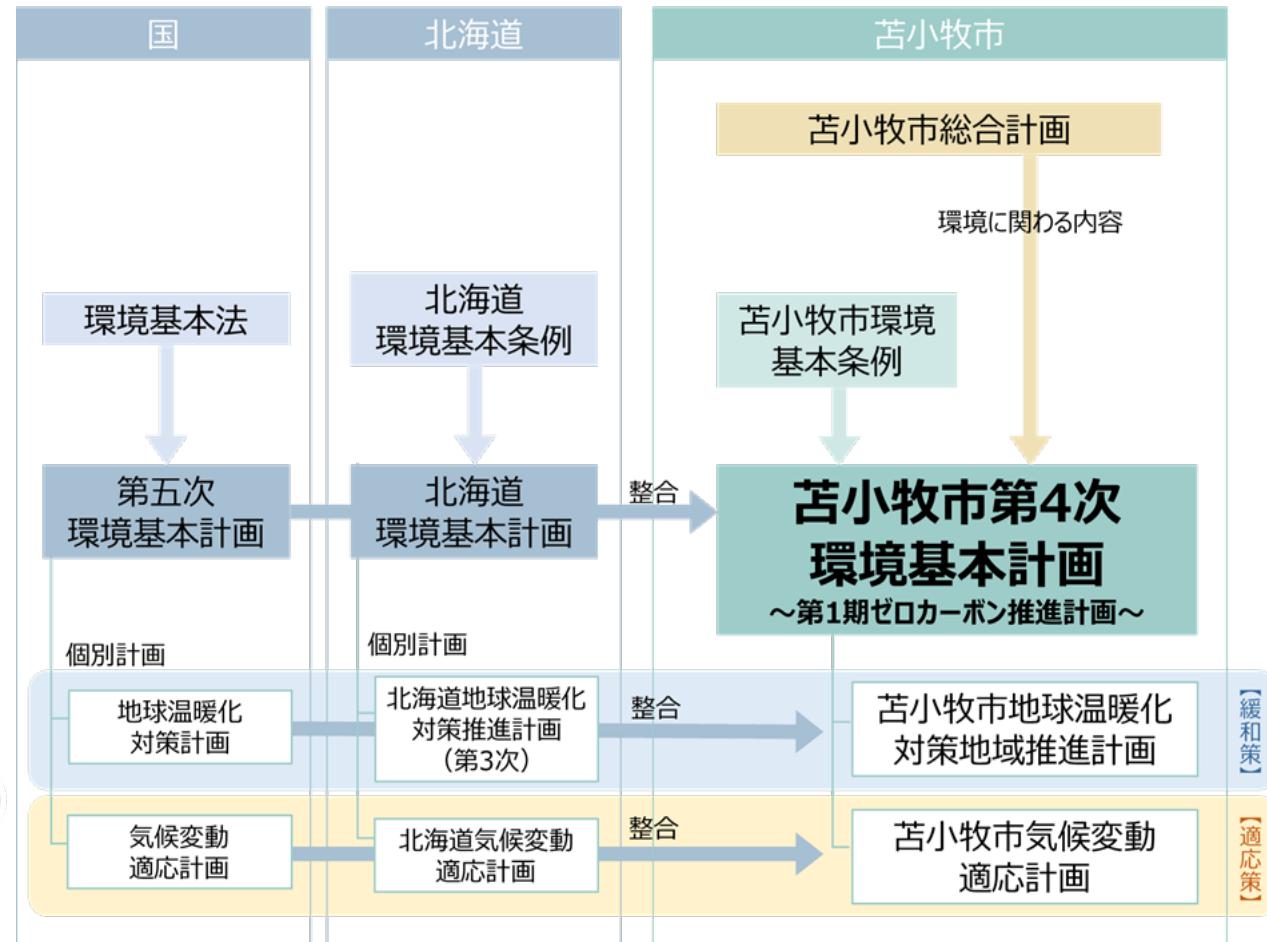
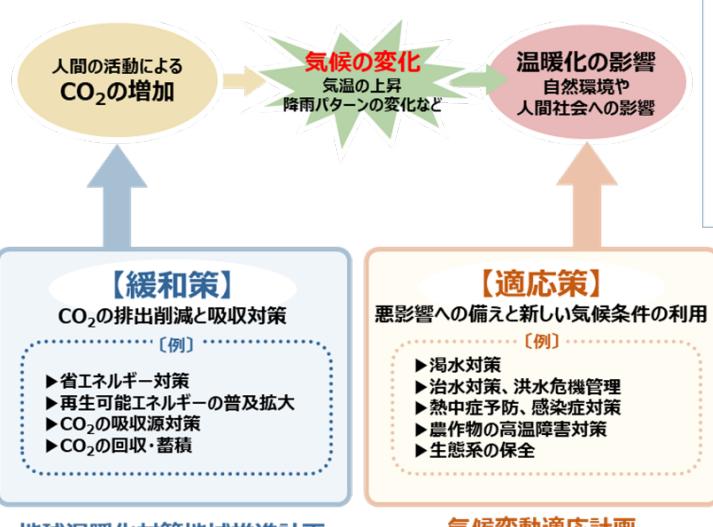
- ①エネルギーの地産地消を進めよう！
エネルギーの地産地消とともに、地域の産業振興にもつなげます。
- ②産業全体で取組を拡大しよう！
対象を行う企業への支援や、企業との情報交換を積極的に行います。
- ③新技術に取り組む産業の輪を広げよう！
ゼロカーボンと産業振興の両立を目指し取組を進めます。

3 目指そう！資源が循環する053のまち
便用物の適正処理、資源循環社会の実現に向けて
4Rの社會に取り組みます

- ①ごみを減量しよう！
マイバック、マイボトルの活用、詰め替え商品の購入や、モノを使い切るなどの取組、生ごみの収集対策を推進します。
- ②リサイクルに取り組もう！
広報誌やごみ分別アプリ、SNSなどを活用して様々なリサイクル情報を発信するほか、集団回収や個人回収を推進します。
- ③きれいなまちを目指そう！
ポイ捨て防止や不法投棄対策の実施、地域の大掃除活動を行うなど、まちの環境美化に取り組みます。

4 守ろう！豊かな自然とみんなの未来
苫小牧は自然を貴重に感じられる街に岡田町あります。
未来にこの素晴らしい環境を引き継ぐため、環境保全に取り組みます！

- ①苫小牧の多様な自然環境を守ろう！
多種で豊かな自然環境を守り、自然とのふれあいきっかけを作ります。
- ②まちの緑を守ろう！
森林環境を整備・保全するとともに、まちの緑化を進めます。
- ③公害を未然に防ごう！
モニタリングや公害防止設備の導入支援で生活環境を快適に保ちます。
- ④気候の変化に備えよう！
災害対策をはじめ、熱中症や感染症など健康面での対策などに取り組みます。



苫小牧市の地域適応計画 =
苫小牧市気候変動適応計画
→ 環境基本計画の個別計画として策定

令和3年度		令和4年度														
令和4年2月	3月	令和4年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和5年1月	2月	3月			
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
環境基本計画	公募型プロポーザル準備	公募型プロポーザル募集及び選定	契約の締結	計画骨子案の作成	計画素案の作成	計画原案の作成	委託業者との打合せ								計画最終案の作成	計画公表
	計画策定スケジュール・体制の検討	市民・事業者アンケート調査・集計	基本的事項の整理	担当各課との個別協議	パブリックコメント募集	パブリックコメント	意見集約・対応									
審議会・部会	第2回環境審議会	第1回環境審議会	第2回環境審議会(諮詢)	第①回環境審議会部会	第②回環境審議会部会	第③回環境審議会部会	環境審議会(答申)	議会	部長会議	議会	部長会議	議会	議員配布	総合開発特別委員会		
庁内・広報・議会	部長会議	広報1月号バブコメ募集原稿締切	部長会議	議会	部長会議	議会	議員配布	議会	議会	議会	議会	議会	議会	総合開発特別委員会		

- ・より人数を絞った、**環境審議会部会**でより丁寧に委員の意見を抽出
- ・**市民・事業者**の意見を広く盛り込むため、**アンケート**を実施
- ・**公募型プロポーザル**により、より**苫小牧市**ならではの計画を策定できる**事業者**を選定

北海道の計画と苦小牧市の計画のマッチング

予測される影響(北海道)			既存の施策(北海道)			番号	苦小牧市の 気候変動適応策 (案)	苦小牧市の既往計画			担当課	
分野	大項目	小項目	予測される影響等	分野	大項目	施策		第6次総合計画	関連計画			
農業・林業・水産業	農業	水稻	●出穂期の前進と登熟気温の増大により収量はやや増加しアミロース含有率低下により食味向上	農業・林業・水産業	農業	○營農技術対策の実施 ・気象状況に応じた技術対策を定期的(気象災害等の際は臨時)に農業改良普及センター等を通じ、農業者等へ指導 ○農業農村整備事業に関する取組の実施 ・ハード・ソフトを組み合わせた総合的な排水対策を実施 ・大学・研究機関と連携し、気候変動を踏まえた農業生産基盤整備手法や、事業における温室効果ガスの「見える化」などの検討を実施 ・事業実施後の農地の排水性を維持するため、関係団体や生産者向けの手引きの作成により、農地の保全管理の取組を推進 ○多面的機能支払交付金の活用 ・農村コミュニティを活用した防災・減災活動の取組推進や、防災意識の啓発・普及等への支援 ○地域適応コンソーシアム事業(北海道・東北地域)への参画 ・気温上昇や気象災害によるリンクへの影響調査についての情報収集	1	○营農技術対策の実施 ・気候変動にともなう農業や畜産業への影響を予見し、気象状況に応じた技術対策を定期的に関係機関等を通じ、農業者等へ指導 (情報の共有など含む)を行う	(基本施策08 P70) 【基本目標】 担い手の育成・確保に努め、農業経営の安定・向上を目指すとともに、農業生産に必要な農地の確保とその有効活用により、農村環境の保全を図る。 【主要施策】 都市農村交流や地域コミュニティ機能の発揮等による地域資源の維持(産業経済部)	苦小牧市農業経営基盤強化促進基本構想	【産業経済部】農業・畜産・酪農収益力強化対策事業	農業水産振興課
	果樹		●果樹栽培適した地域の拡大 ●醸造ワイン用など生産適地が広がる可能性									
	麦・大豆・飼料作物等		●小麦:収量は日射量低下で減少。生育後半の降水量増加により、倒伏、穗發芽、赤かび病が発生し品質低下 ●大豆:収量は道央、道南の一部を除き増加。高温による裂皮が発生し品質低下。病害虫被害拡大 ●小豆:収量は十勝、オホーツクで増加。道央、道南の一部で小粒化により規格内歩留低下。病害虫被害拡大 ●てんさい:気温上昇により収量は増加するが、根中糖分は低下。糖量はやや増加。病害多発 ◇ばれいしょ:土壤凍結深が浅くなり、前年の収穫時にこぼれた小イモの雜草化 ●牧草:収量は日射量低下で減少 ●飼料用とうもろこし:気温の上昇、昇温程度に合わせた品種変更で収量は増加。病害多発懸念									
	畜産		●気温上昇による暑熱対策経費の増加									

【適応策の場合】

- ① 北海道地域気候変動適応計画から、予測される気候変動による影響を抽出する。
- ② 同計画や他市町村の計画から、①と関連した施策を抽出する。
- ③ 苦小牧市に関連する①②を、市の総合計画と照合しながら再度抽出する。
- ④ 担当課に③の掲載可否、記載内容の修正等を照会

・水産業に関する施策

●水産基盤整備事業の実施（漁場回遊性の魚介類の生息分布への影響対策）

- ・気候変動による、海洋生物の分布域の変化について情報収集し、国、道の関係機関等と連携し、対応した水産基盤整備や栽培漁業などを推進します。

・陸域生態系に関する施策

●エゾシカ森林被害防止対策の実施

- ・エゾシカによる森林被害を軽減するため、防除や捕獲などの対策を加速化させるとともに、民有林と国有林の連携（民国連携）により効果的な森林被害対策を実施し、捕獲数の拡大を目指します。

●希少野生動植物種保護対策、外来種対策の実施

- ・気候変動による生物分布域やライフサイクルの変化を予見し、「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」に基づき、道内に生息・生育する希少野生動植物種の保護対策及び外来種の防除対策等を実施します。

●生物多様性地域戦略の策定

- ・気候変動による生物分布域の変化、ライフサイクルの変化を考慮した戦略を策定します。

●森林整備事業の実施（水源の渴水対策）【再掲】

- ・水源のかん養など森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、伐採後の再造林や間伐など森林の整備とともに、基盤となる路網の整備を推進します。
(※保安林における森林整備を実施し、保安林機能を維持・強化する)

■関連する計画

- ・苫小牧市自然環境保全基本方針
- ・苫小牧市森林整備計画（再掲）
- ・森林経営計画（再掲）
- ・苫小牧市特定間伐等促進計画（再掲）
- ・ふるさとの山づくり総合計画（再掲）
- ・緑の基本計画（再掲）

【掲載する施策について】

基本的に市が所管するソフト事業を掲載
ハード事業と関係する場合は、掲載時の表現として「**国・道と連携して、〇〇の事業を行う、推進する、目指す**」等の表現に統一する形で調整

=「**市**として出来ることを整理してまとめたもの」という位置付け

【施策の長期性について】

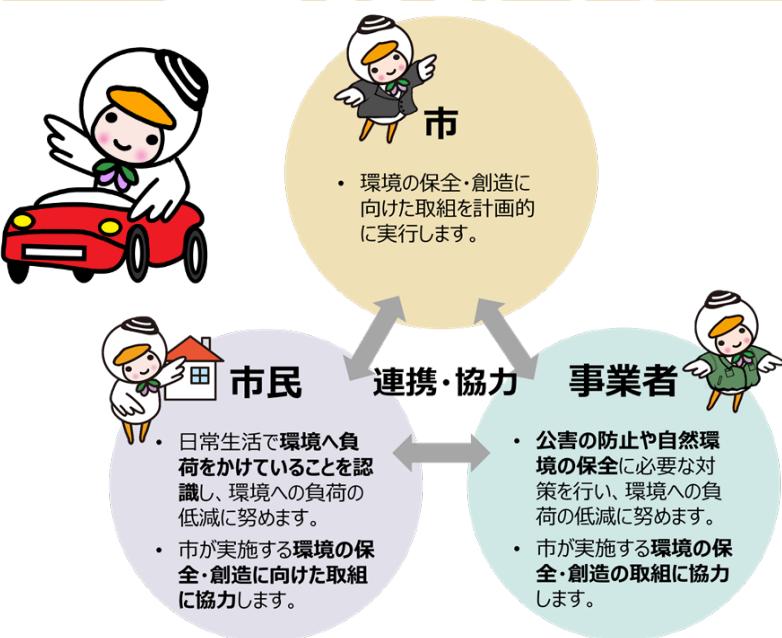
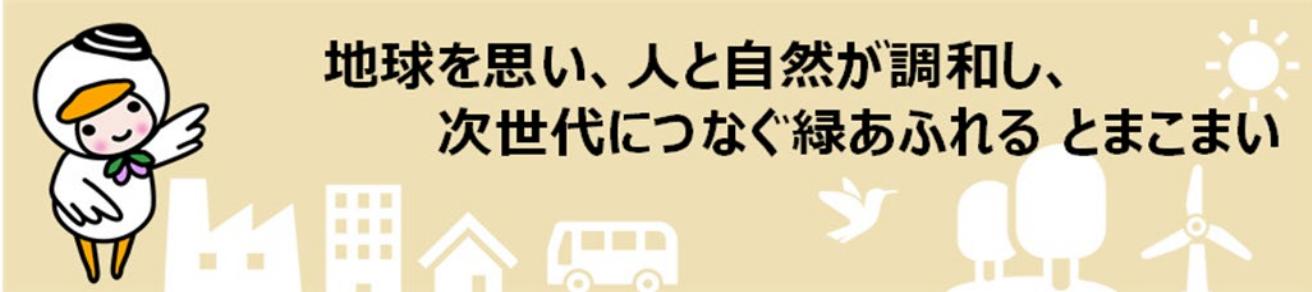
施策ごとに適応策として十分な内容であっても、今後の気候変動の影響については考慮されていない場合がほとんどのため
「気候変動による〇〇を想定した、考慮した」等の表現に統一

=**適応策として長期的な視点をもった施策**となるよう表現を調整



- ① 全体の構成として、イラストや図表を多めにし文章量を少なめにした。
- ② 表紙見開き2ページに将来的な取組を掲載し、関連頁への目次としての役割を持たせた。
- ③ あいさつ文は「おわりに」とし最終頁に掲載、市の概要、地理的特徴などは「資料編」で掲載。





4つの基本目標ごとに、次の内容を整理しています。

■基本目標の成果指標
令和12年度（2030年度）までに、みんなで連携して取り組んだ結果、どのような成果が得られるか、目指すゴールを示しています。

■関連するSDGsのゴール
SDGs（持続可能な開発目標）は、令和12年（2030年）までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。ゼロカーボンシティに向けた本市の取組も、世界で目指すゴールにつながります。

■現状と課題
本市の環境の現状や、課題について図やデータを示しながら整理しています。

■基本施策（アクション）
市・事業者・市民が連携して取り組むべきことについて具体的に示しています。令和12年度（2030年度）に向けて、どのくらいを目指して取り組むかを示す取組目標も設定しています。

- ④ 「ゼロカーボン」「適応策」など専門用語が多いことから、資料編に用語集を掲載した。
- ⑤ 計画冊子はいざ読もうとしても進まない暗めの印象があるため、苫小牧市公式キャラクター「とまチヨップ」のイラストを多数掲載することで、明るく読みやすい計画となるよう意識した。
- ⑥ 各章ごとに1頁で概要をまとめ、どんな内容が掲載されているか伝わりやすさを意識した。



**「とまチョップ」の
教えて！ゼロカーボンまめ知識**

市内でエコな取組を行っている企業を紹介します！

動画は
こちら！


【株式会社イワクラ】

- 貴重な木材をムダにしない商品作りを行っています。
- 間伐材や廃材を加工し、形を変えて、パーティクルボード・パレット等へ製品化しています。



【苫小牧バイオマス発電株式会社】

- 北海道内の未利用木材を燃料とした、地産地消の再生可能エネルギーを創り出しています。
- 環境に優しいだけでなく、林業への経済効果もたらします。



【大鎮キムラ建設株式会社】

- 太陽光発電や省エネ設備を活用した「ZEH（ゼッヒ）」住宅など、環境にも家計にも優しい家づくりを目指しています。

環境保全課では、オンライン上でエコな企業の取組を学べる動画「突撃！とまエコ企業」を、苫小牧市公式 YouTube で公開しています！

突撃！とまエコ企業で取組を公開する効果

- 企業のエコな取組を市内外へPRできます！
- 文字や画像では伝えきれない細かな雰囲気まで伝えることができます！
- 視聴者の記憶に残り、宣伝効果がアップします！

環境保全課では、取材にご協力いただける企業を募集中です！
「レツッ、とまエコ！」



**「とまチョップ」の
教えて！ゼロカーボンまめ知識**

ホッキ貝水揚げ
連続日本一！

- 苫小牧と言えば、押しも押されぬホッキの町です。令和 3 年（2021 年）の漁獲量は 867 トンで 22 年連続水揚げ日本一を達成しています。
- かつて苫小牧ではホッキの乱獲が起こり、1950 年代には 1 日に 20 キロ取れるかどうかというところまで資源が枯渇してしまいました。
- 苫小牧漁業協同組合では、様々な取組を講じて、1980 年代の後半に豊かな漁場を取り戻しました。

＜苫小牧漁業協同組合の取組＞

- ◇ 稚貝の移植と漁期や禁漁区を定め漁場の回復に着手
- ◇ 厳しい漁獲制限や操業規則を伴う先進的な取り組み
- ◇ シジミ漁に使われる漁具を改良し「噴流式桁曳網」を開発
- ◇ 海底の土壌を耕して稚貝の生育環境を整える画期的な漁法 など





⑦ 専門用語の補足や、市の個別事業や市の環境に関する事業者、団体を紹介する目的で、コラムを掲載。

→ 非常に内外部での評判が良く、「コラム集」も作成し、市HPに公開している。
「とまチョップ」のイラストと併せて、空き頁やスペースを余すことなく活用した。



基本目標 1

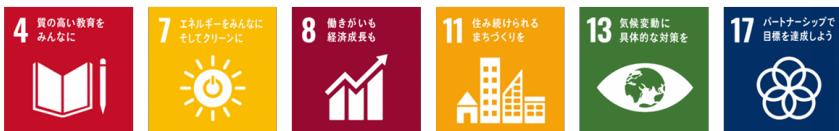
広げよう！ ゼロカーボンとみんなの暮らし

私たちの身近なところから、2050年にCO₂の排出を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボン」な暮らしを広げます

■ 基本目標の成果指標

指標	基準年度	現状値（2019年度）	目標値（2030年度）
CO ₂ 排出量 (家庭部門)	平成25年度（2013年度） 498,955 t-CO₂/年	12.6% 削減 (平成25年度(2013年度)比)	66% 削減 (平成25年度(2013年度)比)
CO ₂ 排出量 (業務部門)	平成25年度（2013年度） 393,835 t-CO₂/年	24.6% 削減 (平成25年度(2013年度)比)	51% 削減 (平成25年度(2013年度)比)

■ 関連するSDGsのゴール



■ 現状と課題

- 本市の民生部門（家庭・業務部門）のエネルギー消費量は、全体の12%を占めています。
- 家庭では、暖房エネルギーを多く消費しています。そのため、断熱性能の向上が重要です。
- 事業所やお店では、電気を多く消費しているため、省エネルギー対策が重要です。

■ 基本施策（アクション）

① エネルギーを節約しよう！

節電・節エネルギー・節水・エコドライブなど身近な取組がたくさんあります。

② CO₂の少ない製品・サービスを選ぼう！

環境性能の高いものや、環境配慮マークの付いたもの、地元で作られたものを選びます。

③ ゼロカーボンな住宅・オフィスをつくろう！

断熱性・機密性の向上は、経済面・健康面でもいいことだらけ！

④ ゼロカーボンなまちをつくろう！

自転車や公共交通機関など自動車以外の手段を積極的に選びます。

⑤ 環境対策の大切さを知ろう！

学びを通して環境対策をより身近なものとして意識することが大切です。



—市は—	—事業者は—	—市民は—
市民への環境啓発 (専門機関・事業者などと連携した、出前講座や体験学習会など)	従業員研修への環境教育・環境学習の導入	出前講座や体験学習会などへの参加
次世代市民への環境教育 (省エネ行動教育プログラム、SDGs・ゼロカーボンシティなどの環境学習の実施、環境教育副読本の配布など)	学校や地域での環境教育・環境ボランティアへの協力・仲間づくり	展示会や環境コーナーの見学・観覧 再生可能エネルギーへの理解を深める
環境学習の場の提供 (自然環境などをテーマとした展示会の開催、環境コーナーの設置、太陽光発電学習拠点設備での再生可能エネルギーの解説など)	環境報告書の発行など 自社の環境情報の公開	パブリックコメントなどへの参加
市民への情報提供 (広報誌やホームページ、SNSによる情報提供など)		



⑧ 市の事業内容を同ジャンルでまとめ、表現を簡略化。 事業者、市民が取り組める内容を併せて掲載

→ **市・事業者・市民の三者共同**により、
ゼロカーボンシティの実現を目指すことを取組で示した。

読みやすい計画づくりの工夫

エコ活の初めの一歩は見える化から！
＼エコワット無料貸出中！／
0144-57-8806（環境保全課まで）

マイバッグでプラスチックごみを減らそう！
マイバッグを習慣化してワンウェイ（使い捨て）プラスチックを削減

みんなで一緒に地産地消の食事でエコ&健康に！
温め直しや食材の輸送に必要なエネルギーが減ります

自転車・徒歩・バス通勤でエコ&健康に！
環境にいいだけでなく、健康面にも効果大！会社でも推奨してみては？

冷暖房温度の適正設定+クールビズ&ウォームビズ
夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安に設定

照明・PCなどこまめなスイッチオフで省エネ！
長時間使わない時はコンセントからプラグを抜けば待機電力を削減して節電に

ごみの分別を面倒くさがらないで！
まずは減らす工夫を、出てしまったごみは資源として使えるものをきちんと分別することで資源循環に貢献！

エコアクションコラム
市民が今すぐできるエコ活動を紹介

3きり運動 & 食口削減で生ごみを減らそう！
食材を使いきり＆料理を食べきり＆捨てる時は水をきり
食ロスと生ごみを削減！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGsは新時代の生存戦略
環境・社会課題への配慮は企業として選ばれるためにも重要！
＼SDGs無料相談・診断／
中小機構北海道本部 SDGsで検索

エコアクションコラム
事業者が今すぐできるエコ活動を紹介

市内企業のエコ取り組みを字ぼう！
とまエコ企業のPR
オンライン上で市内企業のエコな取組を学べる動画をYouTubeで配信中！
＼とまエコ企業に関する問合せ／
0144-57-8806（環境保全課まで）

電気・節暖房でお得に♪
例えば、冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」になると年間1,700円節約
(出典) 省エネポータルサイト

意外と効果大？
節水で脱炭素！
例えば、シャワーの水流す時間を1分短くすると年間3,200円節約
(出典) 省エネポータルサイト

無理のないエコドライブでガソリン代を節約
ふんわりアクセル、車間距離をとつて加速・減速の少ない運転、エンジンブレーキを使うなどのちょっとした心がけで燃費を改善

えつ？！光熱費削減（省エネ）は経費削減に直結します

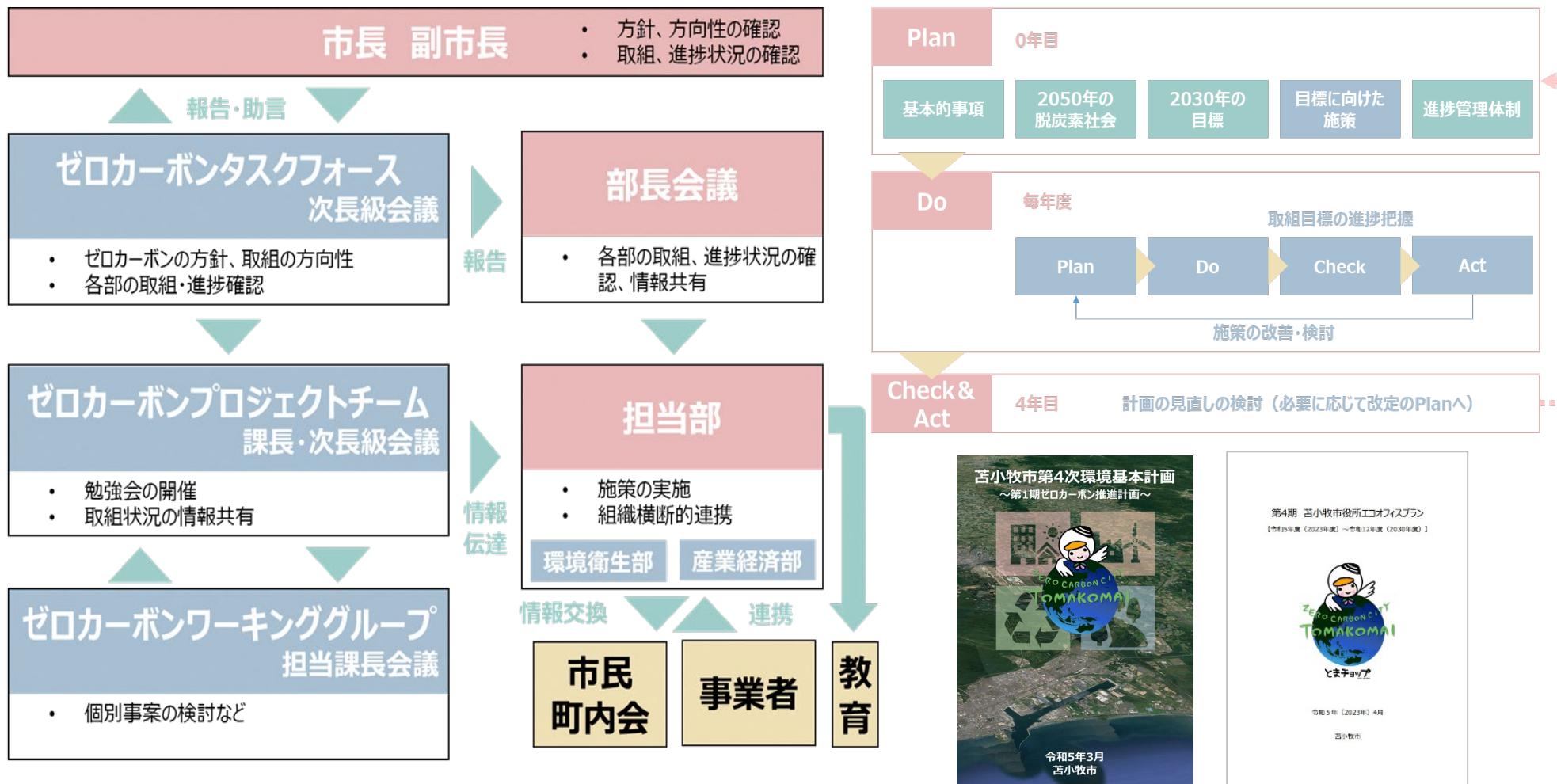
- ✓ 削減した分の利益を設備投資や人材投資に回すことで業務を効率化＆生産性を向上
- ✓ 省エネ対策に力を注ぐことで投資家や消費者の注目を集めることができます

○カーボンニュートラルのオンライン相談窓口（中小機構）
中小企業・小規模事業者の方々を対象に無料で何度も相談できます
(カーボンニュートラル 中小機構 検索)

○エコアクション21（一般財団法人 持続性推進機構）
環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムで、中小企業が取り組みやすく設定されています（エコアクション21 検索）

○ゼロ北ハンドブック（北海道地方環境事務所）
北海道内のゼロカーボン関連の補助施策の要件などがまとめています（ゼロ北ハンドブック 検索）

まずはエネルギーの見える化から始めませんか？



ゼロカーボンシティ実現に向けて、**ゼロカーボンタスクフォース（次長級会議）**などを発足し、**前年度の取組の進捗管理の報告**や、**ゼロカーボンに関係した情報共有**などを**定期的**に行っている。

基本目標	成果目標（アウトカム指標）	基本施策	取組目標（アウトプット指標）
広げよう！ ゼロカーボンと みんなの暮ら し	CO ₂ 排出量 家庭部門：66% 削減 業務部門：51% 削減 (2013年度比)	エネルギーを節約しよう！ CO ₂ の少ない製品・サービスを選ぼう！ ゼロカーボンな住宅・オフィスをつくろう！ 環境対策の大切さを知ろう！	省エネイベントの参加人数（年間） エコドライブ登録者人数（累計） エコカーの導入率 ゼロカーボンハウス促進補助金の補助件数（累計） 路線バス実車走行km当たり利用者数 道路照明灯のLED化率 公園灯のLED化率 小・中学校の教育課程に「SDGs」「ゼロカーボンシティ」に関する学習の明記 出前講座や体験学習会などの実施件数
実現しよう！ ゼロカーボン 産業都市	CO ₂ 排出量 産業部門：38% 削減 (目標を定めている企業は自社目標) 運輸部門：35% 削減 (2013年度比)	エネルギーの地産地消を進めよう！ 産業全体で取組を拡大しよう！ 新技術に取り組む産業の輪を広げよう！	市内における太陽光発電システム導入容量（累計） ゼロカーボン対策推進企業の支援件数（累計） ゼロカーボンに関する調査・実証研究等の実施件数（累計）
目指そう！ 資源が循環す る053のまち	1人1日当たりの 家庭ごみの排出量：520g リサイクル率：33.0% CO ₂ 排出量 廃棄物部門：25% 削減	ごみを減量しよう！ リサイクルに取り組もう！ きれいなまちを目指そう！	1人1日当たりの家庭ごみの排出量 リサイクル率 廃棄物焼却によるCO ₂ 排出量
守ろう！ 豊かな自然と みんなの未来	市民満足度の上昇※ ・ 豊かな自然環境の保全に努め、自然保護の意識を高めること ・ 公園、緑地、広場、並木道など身近に緑とふれあえること ・ 大気汚染、水質汚染、騒音等、公害を防ぐ対策をとること	苫小牧の多様な自然環境を守ろう！ まちの緑を守ろう！ 公害を未然に防ごう！ 気候の変化に備えよう！	各小学校等における「自然ふれあい教室」及び「こころの授業(出前講座)」の実施回数、人数 市有林の施業面積 大気環境基準達成率 航空機騒音環境基準達成率 —

【環境省HPより】

総量削減目標（CO₂排出削減目標）を補完するものとして、地方公共団体の実情に合わせて追加的に設定することが望まれます」とあることを根拠に設定。

→ 計画の推進により、目標がどの程度達成されたのか、また市条例における基本理念並びに方針が、どの程度実現されているのかを把握する方法として、指標を設定した。

→ 適応策は上記から主旨が外れることから、個別の取組目標は設けず、独立した扱いとした。

【取組目標（アウトプット指標）】

基本施策（アクション）ごとに、「どの程度施策を行うことを目指すか」を示す

【成果目標（アウトカム指標）】

基本目標ごとに、「施策を行った結果どのくらい効果が得られると見込まれるか」を示す



施策⑤ 環境対策の大切さを知ろう！

No.	掲載ページ	基本施策	担当課	取組内容	実績・進捗	効果など	評価
36	22	次世代市民への環境教育 (省エネ行動教育プログラム、SDGs・ゼロカーボンシティなどの環境学習の実施、環境教育副読本の配布など)	総務企画課	小中学校省エネ行動教育プログラム事業を行います。	小学校22校、中学校14校、義務教育学校1校が実施校として、学校全体で省エネ活動に取り組みました。	児童・生徒が省エネ型の生活習慣を身に付け、環境問題への意識を高めることが出来ました。今後も環境教育の一環として、取り組みを継続します。	A
37	22		指導室	各学校において環境教育の全体計画を作成し、全体計画に基づいた環境教育の取組を教育課程に位置付けます。	令和5年度は、小学校1校、中学校2校の教育課程に「SDGs」「ゼロカーボンシティ」に関する学習の明記を行いました。	小中学校における「SDGs」「ゼロカーボンシティ」に関する学習の基盤が構築され、環境教育の推進が図られました。	B
38	22		(主)ゼロごみ推進課 (副)ゼロカーボン推進室	小学生副読本・中学生副読本をそれぞれ作成し、各小中学校へ配布します。	苫小牧市教育研究所環境教育研究委員会の協力により、小学生副読本・中学生副読本をそれぞれ作成、各小中学校へ配布しました。	小学4年生と中学1年生の授業等で用いられており、次世代を担う若年層への啓発となりました。	A
39	22		青少年課	未来創造こども会議でゼロカーボンの講義を通じ、知識を深め、市政に反映できる施策の提案を行っていただきます。	令和5年10月～令和6年1月にかけて、ゼロカーボンに関する事前研修を計4回実施しました。 1月に本会議を開催し、苫小牧市へゼロカーボンに関する提案を、未来創造こども会議から行いました。	ゼロカーボンシティへの取組の理解を深め、未来創造こども会議の目的である、実現可能で斬新なアイデアを苫小牧市へ提案することで、未来を担うリーダーとなり得る、青少年の育成が図られました。	A

第4次環境基本計画 《実施計画》

～第1期ゼロカーボン推進計画～



計画内では、事業をジャンル別に簡略化した表現で掲載
→ 計画を読みやすい一方で、内部では個別事業の管理が困難

= 内部運用に「実施計画」を別途策定し、個別事業を一覧化



毎年度、実績・進捗管理及び事業別にABCD評価を実施

- タ イ ト ル :** ダブルポートシティ苫小牧の次世代エネルギー供給拠点形成への挑戦
～産業(立地企業)の脱炭素化が民生(市街地)のゼロカーボンと地域振興に資する新たなPPAモデルの構築～
- 主たる提案者 :** 苫小牧市
- 共同提案者 :** 出光興産(株)、トヨタ自動車北海道(株)、北海道電力(株)、勇払自治会、勇払商工振興会、
苫小牧港管理組合、(株)ベルポート北海道、苫小牧信用金庫、三井住友信託銀行(株)
- 取組概要 :** 道内随一の工業都市の特徴を最大限活用するため、複数の産業施設に大規模なPVを設置し、産業部門のCO2排出量を大幅に削減すると同時に、そこで得られる再エネ余剰電力を地域振興費を活用して、民生部門の脱炭素化と地域課題解決を図り、産業の取組が民生に資するモデルを構築する。
また、先進的CCS事業により、2030年までに最大150万t/年のCO2貯留を事業化する検討をするほか、将来的には再エネ電力とCO2からの合成燃料等製造により次世代エネルギー拠点を目指す。

脱炭素先行地域とは

民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減も地域特性に応じて実施する地域。

$$\text{民生部門の電力需要量} = \text{再エネ等の電力供給量} + \text{省エネによる電力削減量}$$

地域振興事業



地域課題の解決
地域の活性化

【取組の全体像】





Thank you for your attention